

IV 従業員調査結果

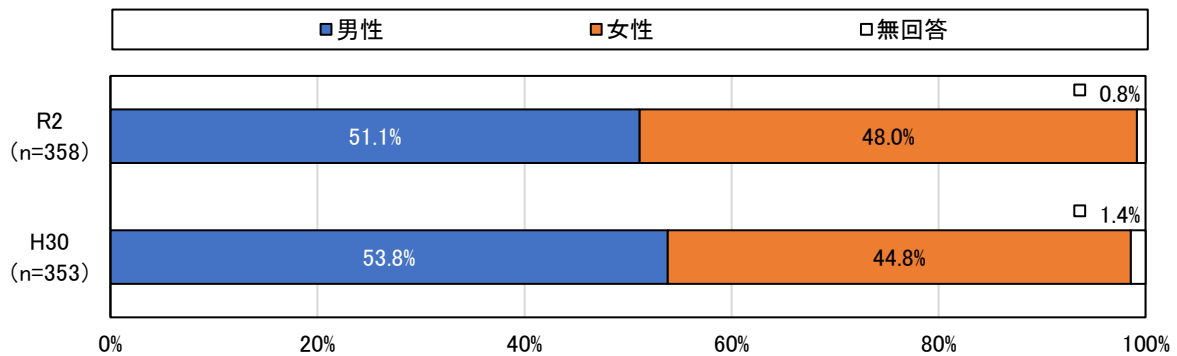
1 あなたご自身について

【問 1】

(ア) 性別

性別は、「男性」「女性」がそれぞれ約 5 割となっている。

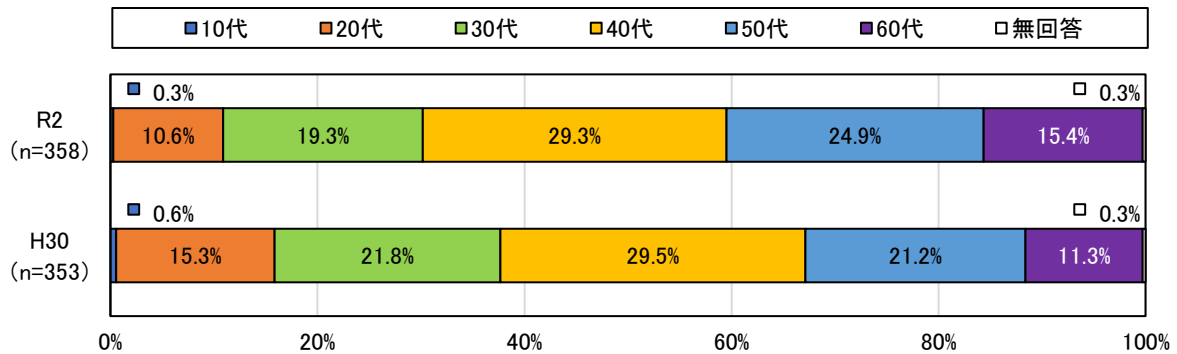
図表 81 性別



(イ) 年齢

年齢は、「40 代」が約 3 割で最も高く、次いで「50 代」「30 代」となっており、40 代～50 代が約 5 割を占めている。

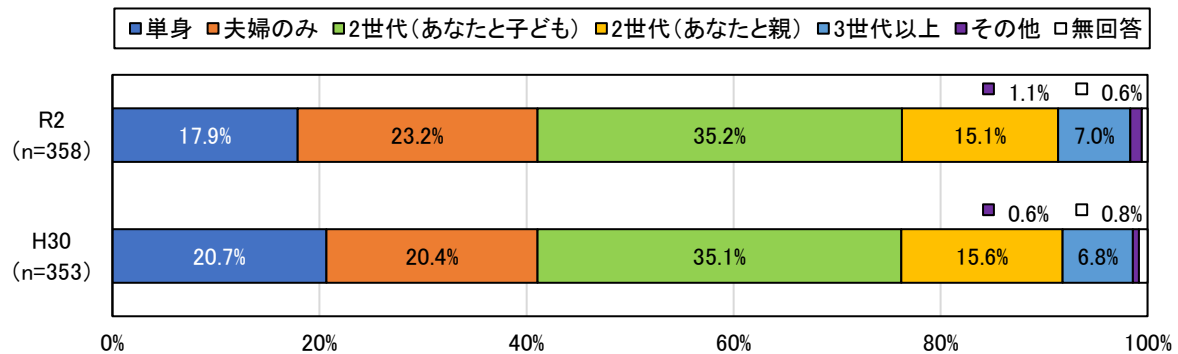
図表 82 年齢



(ウ) 世帯構成

世帯構成は、「2世代（あなたと子ども）」が約4割で最も高く、次いで「夫婦のみ」「単身」となっており、『2世代（あなたと子ども、あなたと親の合計）』が約5割を占めている。

図表 83 世帯構成



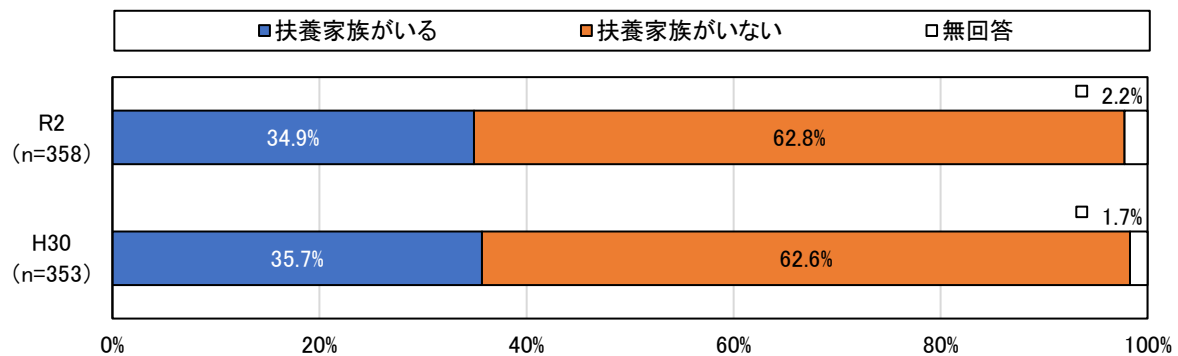
世帯構成「その他」の内容 ※（ ）内は本人以外

本人（夫・子・義母・義弟）、本人（兄）、本人（義妹）

(エ) 扶養の状況

扶養の状況は、「扶養家族がない」が約6割を占めている。

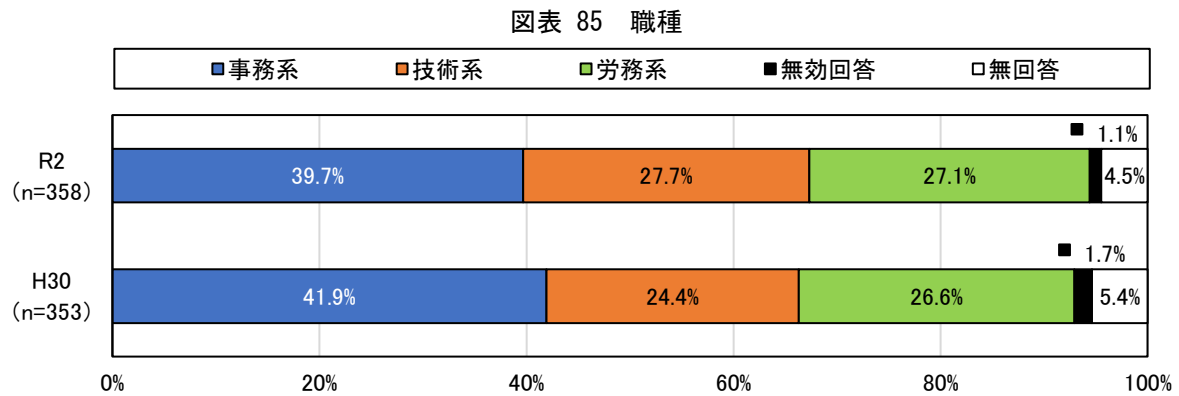
図表 84 扶養の状況



Ⅳ 従業員調査結果

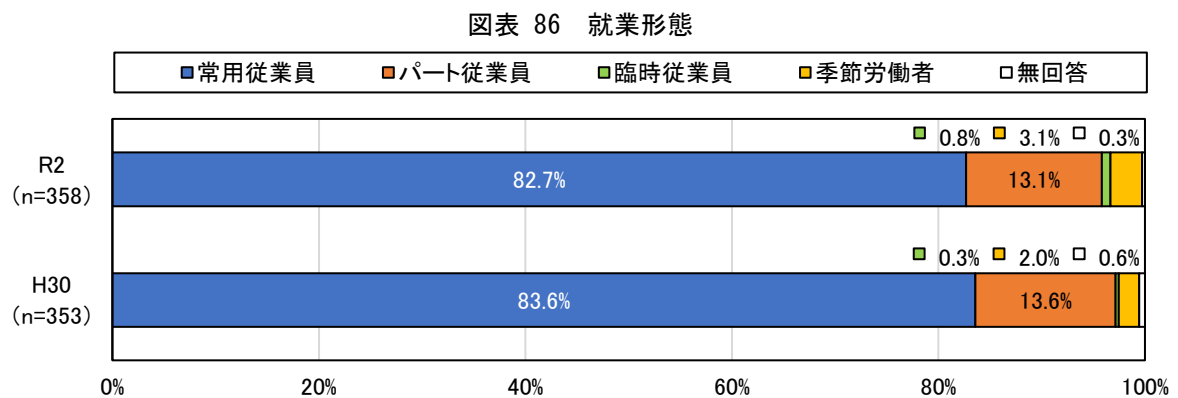
(オ) 職種

職種は、「事務系」が約4割で最も高く、次いで「技術系」「労務系」となっている。



(カ) 就業形態

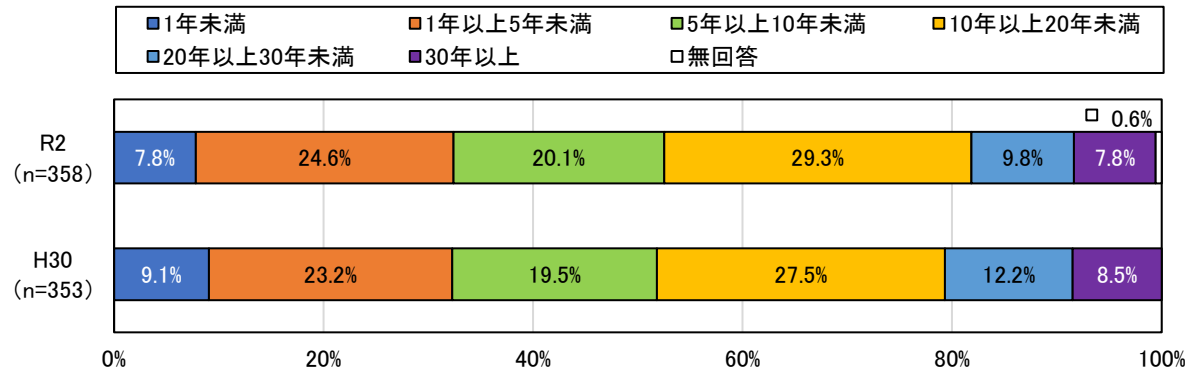
就業形態は、「常用従業員」が約8割を占めている。



(キ) 勤続年数

勤続年数は、「10 年以上 20 年未満」が約 3 割で最も高く、次いで「1 年以上 5 年未満」「5 年以上 10 年未満」がそれぞれ約 2 割となっており、『20 年未満』が約 8 割を占めている。

図表 87 勤続年数

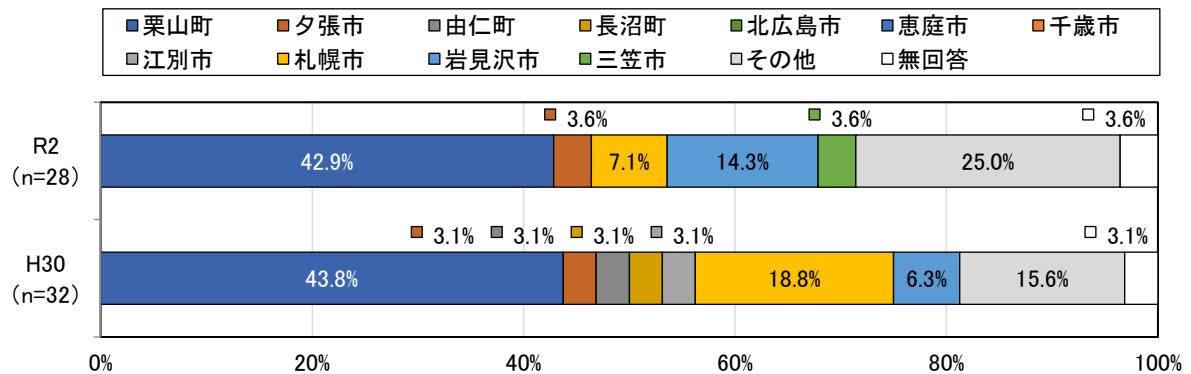


※(ク)～(シ)は、(キ)勤続年数で「1 年未満」と答えた方が回答

(ク) 出身地

出身地は、「栗山町」が約4割で最も高く、次いで「岩見沢市」「札幌市」となっている。

図表 88 出身地



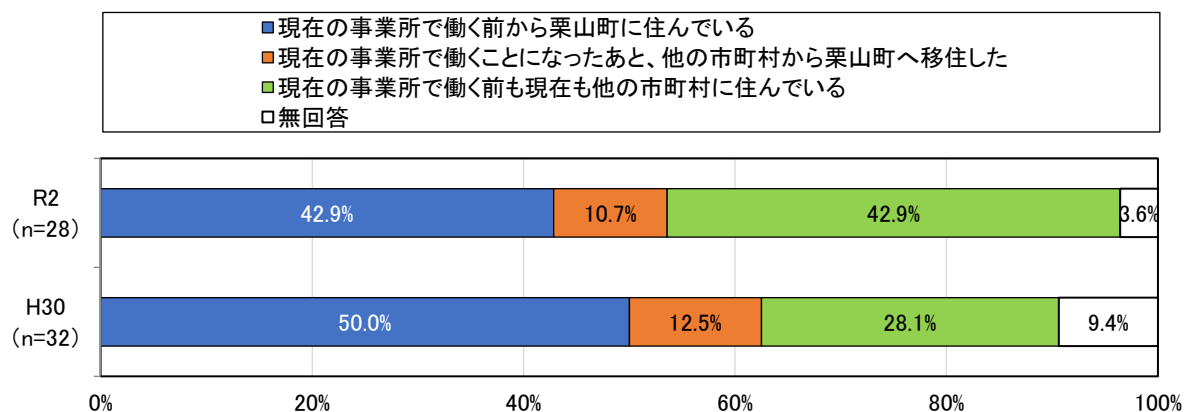
出身地「その他」の内容

室蘭市、滝川市、兵庫県、長崎県、鹿児島県

(ケ) 居住地

居住地は、『栗山町に住んでいる（「現在の事業所で働く前から栗山町に住んでいる」と現在の事業所で働くことになったあと、他の市町村から栗山町へ移住した」の合計）』が約5割、「現在の事業所で働く前も現在も他の市町村に住んでいる」が約4割となっている。

図表 89 居住地



居住地「現在の事業所で働くことになったあと、他の市町村から栗山町へ移住した」の内容 ※（ ）内は2件以上の回答数

【移住前の市町村】札幌市（3）

居住地「現在の事業所で働く前も現在も他の市町村に住んでいる」の内容

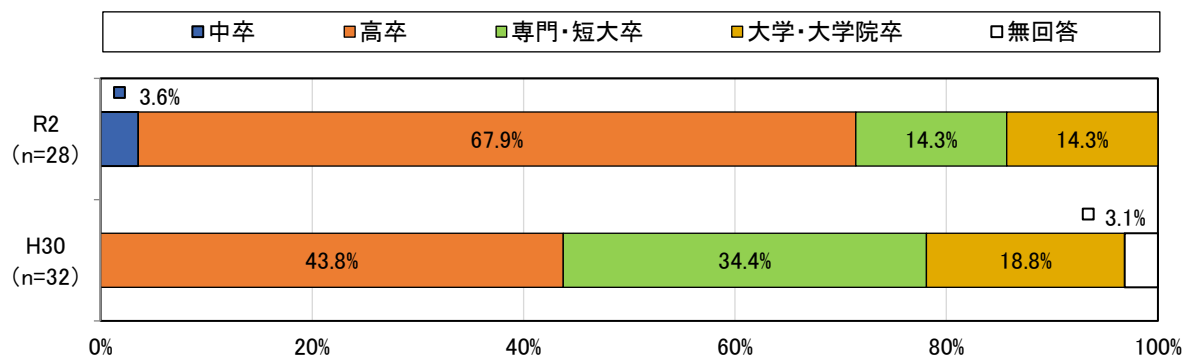
※（ ）内は2件以上の回答数

【居住している市町村】岩見沢市（6）、由仁町（2）、札幌市、江別市、千歳市、三笠市

(コ) 学歴

学歴は、「高卒」が約7割で最も高く、次いで、「専門・短大卒」「大学・大学院卒」となっている。

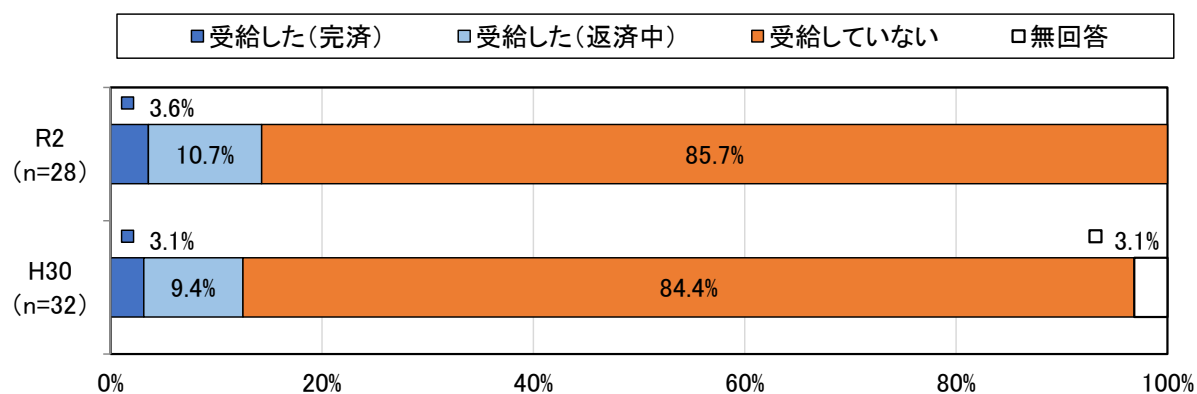
図表 90 学歴



(サ) 奨学金の受給有無

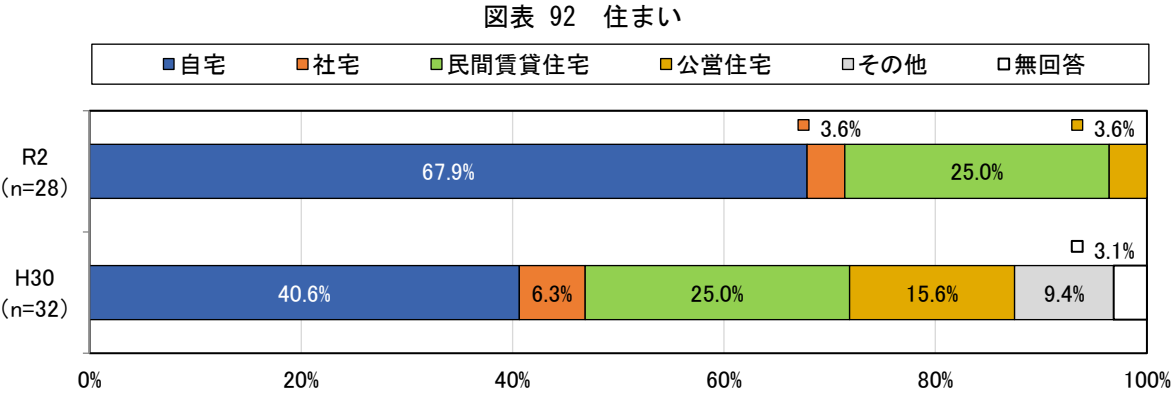
奨学金の需給有無は、「受給していない」が約9割を占めている。

図表 91 奨学金の受給有無



(シ) 住まい

住まいは、「自宅」が約7割で最も高く、次いで「民間賃貸住宅」となっている。

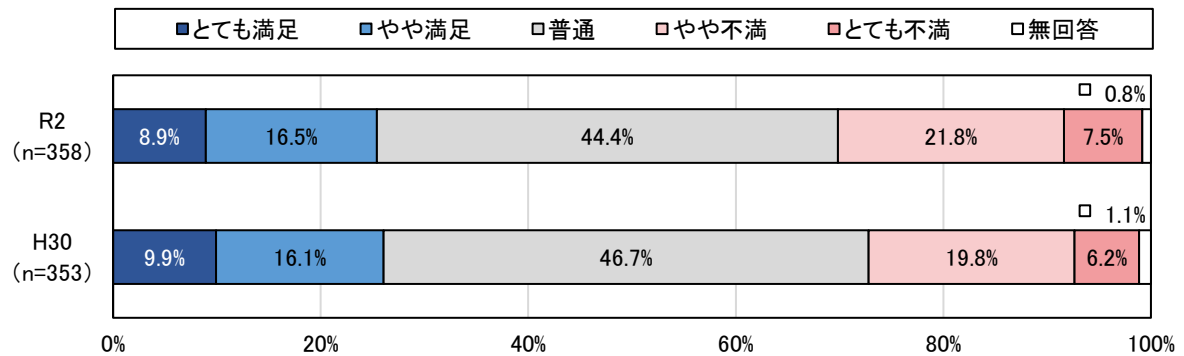


2 現在の収入・手当について

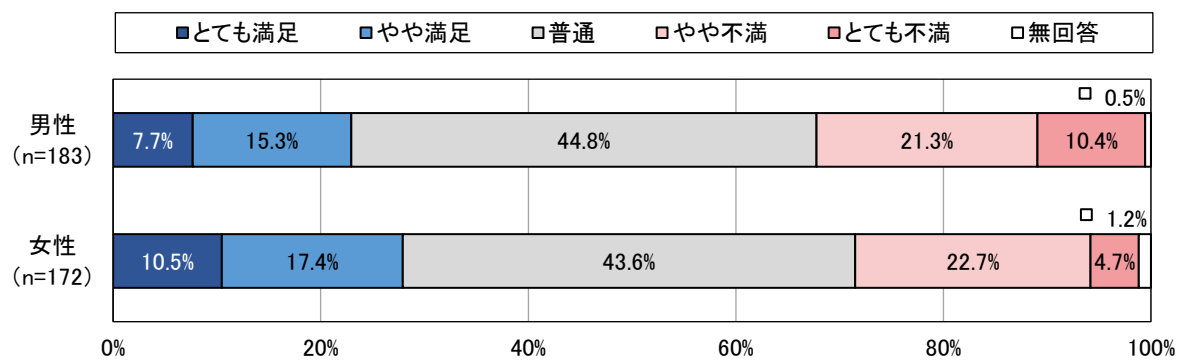
【問2】現在の収入（基本給）について満足していますか。

現在の収入（基本給）の満足度は、「普通」が約4割で最も高くなっている。

図表 93 現在の収入（基本給）の満足度



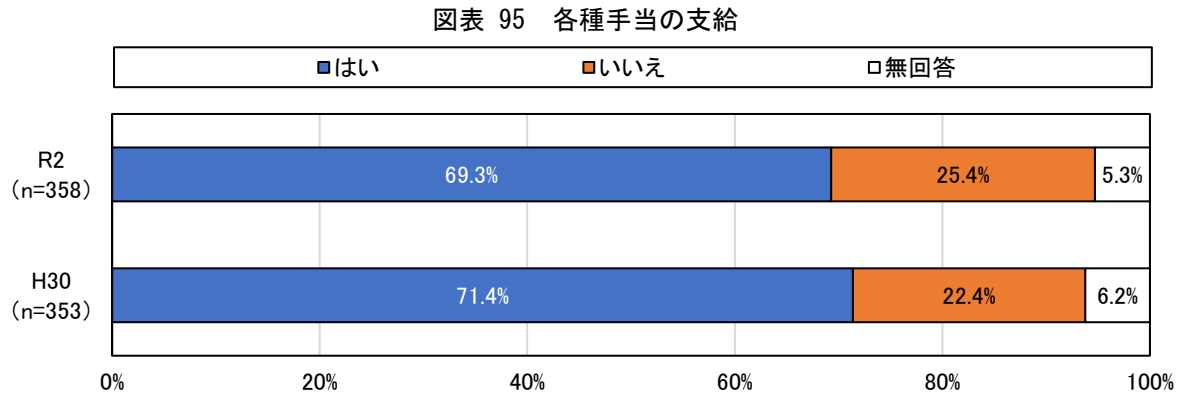
図表 94 現在の収入（基本給）の満足度【性別】



【問 3】各種手当は十分に支給されていると思いますか。

各種手当は十分に支給されていると思うかについて、「はい」が約 7 割を占めている。

各種手当が十分に支給されていると思わない理由は、「時間外手当が不足している」が最も多く、次いで「燃料手当・寒冷地手当が不足している」「通勤手当が不足している」となっている。



各種手当が十分に支給されていると思わない理由 ※ () 内は 2 件以上の回答数

- ・ 時間外手当が不足している。(10)
- ・ 燃料手当・寒冷地手当が不足している。(8)
- ・ 賞与が不足している。(7)
- ・ 通勤手当が不足している。(4)
- ・ 家族手当・扶養手当が不足している(3)
- ・ パート、臨時、嘱託のため手当がない(3)
- ・ 夜勤手当が不足している(2)
- ・ 住宅手当が不足している(2)
- ・ 制度がないまたは古い(2)

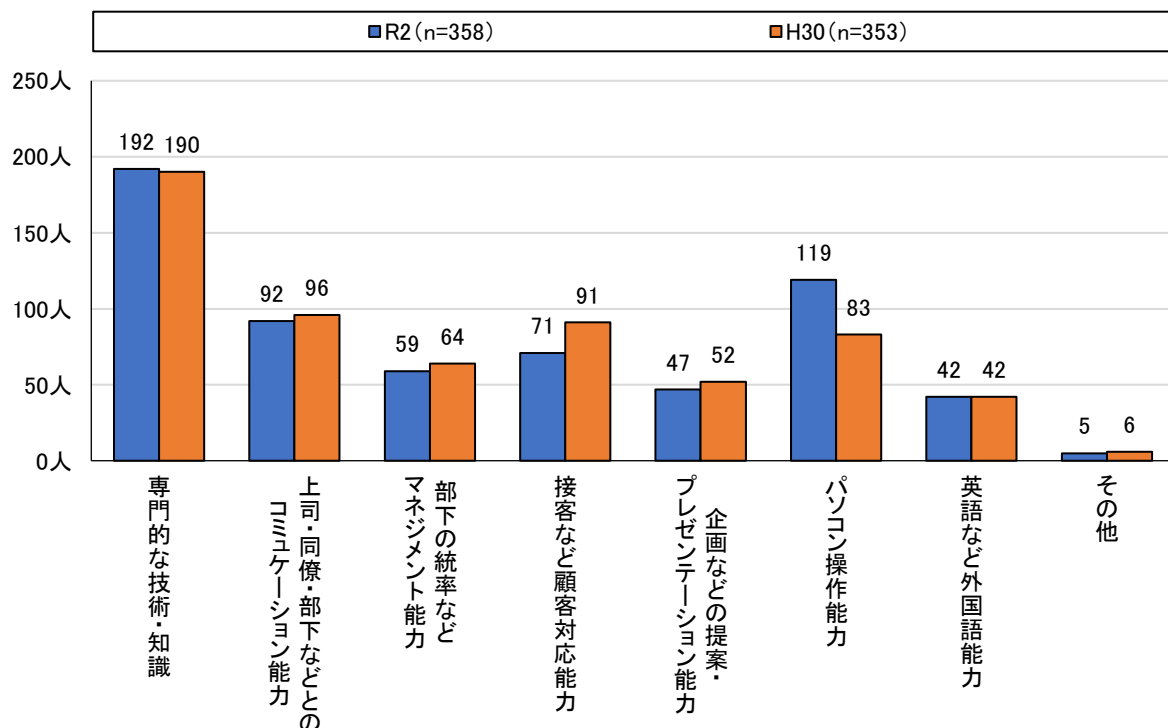
3 スキルアップについて

【問4】どのようなスキルを向上させたい（身につけたい）と思いますか。【複】

向上させたい（身につけたい）と思うスキルは、「専門的な技術・知識」が192票で最も多く、次いで「パソコン操作能力」「上司・同僚・部下などとのコミュニケーション能力」となっている。

平成30年度調査と比較すると、「パソコン操作能力」が最も増加（36票増）し、「接客など顧客対応能力」が最も減少（20票減）している。

図表 96 向上させたい（身につけたい）と思うスキル【複】



向上させたい（身につけたい）と思うスキル「その他」の内容

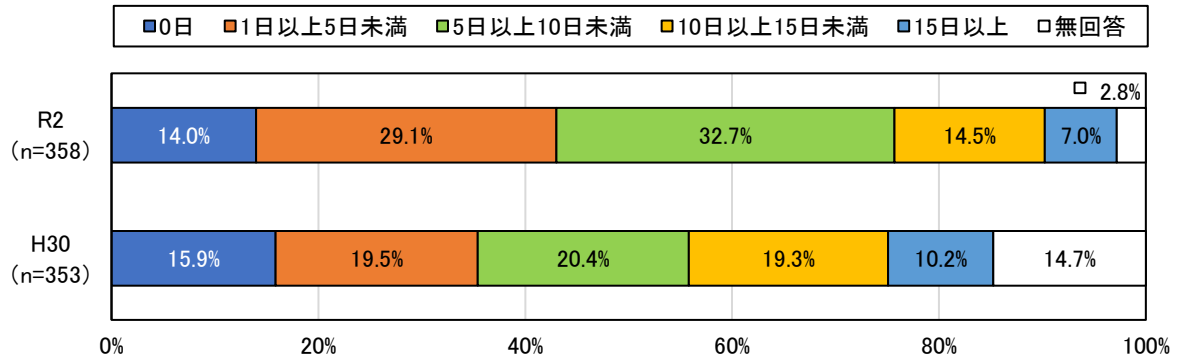
利用者様とのコミュニケーション

4 休業・休暇について

【問 5】最近 1 年間の有給休暇の取得日数をお答えください。

最近 1 年間の有給休暇の取得日数は、「5 日以上 10 日未満」が約 3 割で最も高く、次いで「1 日以上 5 日未満」「10 日以上 15 日未満」となっており、『10 日未満』が約 8 割を占めている。

図表 97 最近 1 年間の有給休暇の取得日数



※問6～問7は常用従業員とパート従業員の方が回答

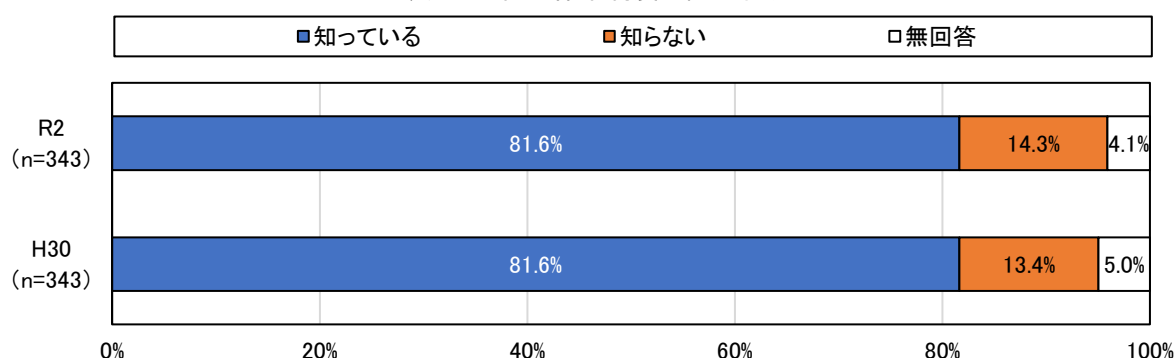
【問6－（１）】育児休業制度を知っていますか。

【問6－（２）】育児休業を取得したいと思いますか。

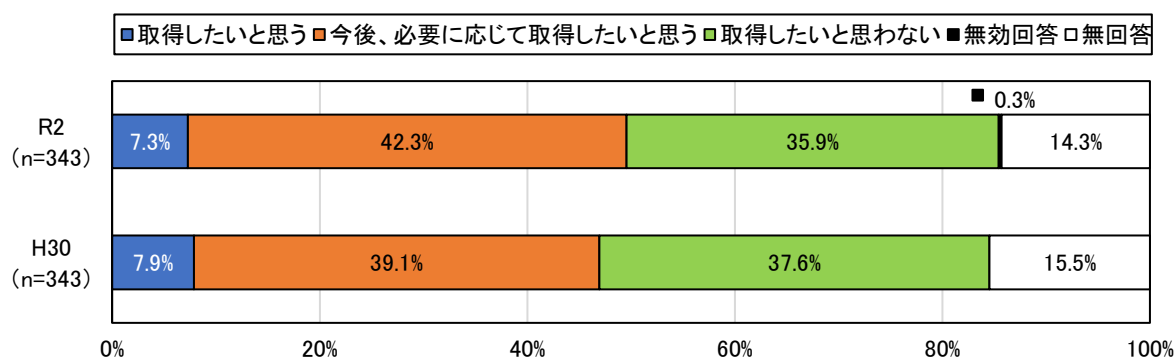
育児休業制度の認知状況は、「知っている」が約８割を占めている。また、育児休業の取得意向は、『取得意向がある（「取得したいと思う」と「今後、必要に応じて取得したいと思う」の合計）』は約５割となっている。

年代別でみると、『取得意向がある（「取得したいと思う」と「今後、必要に応じて取得したいと思う」の合計）』は、年代が低くなるにつれて割合が高くなり、10代～30代は7割以上を占めている。

図表 98 育児休業制度の認知状況

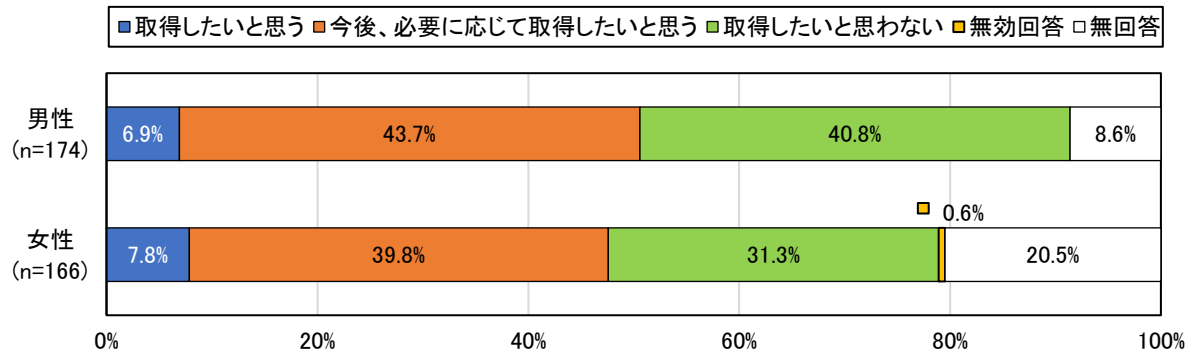


図表 99 育児休業の取得意向

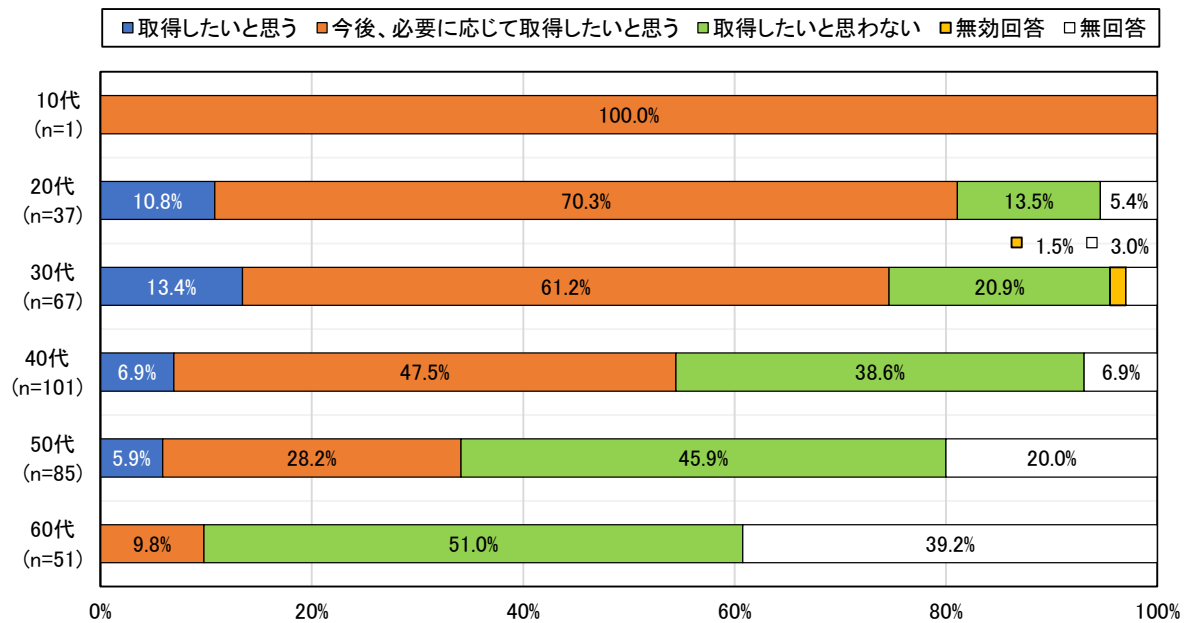


Ⅳ 従業員調査結果

図表 100 育児休業の取得意向【性別】



図表 101 育児休業の取得意向【年代別】



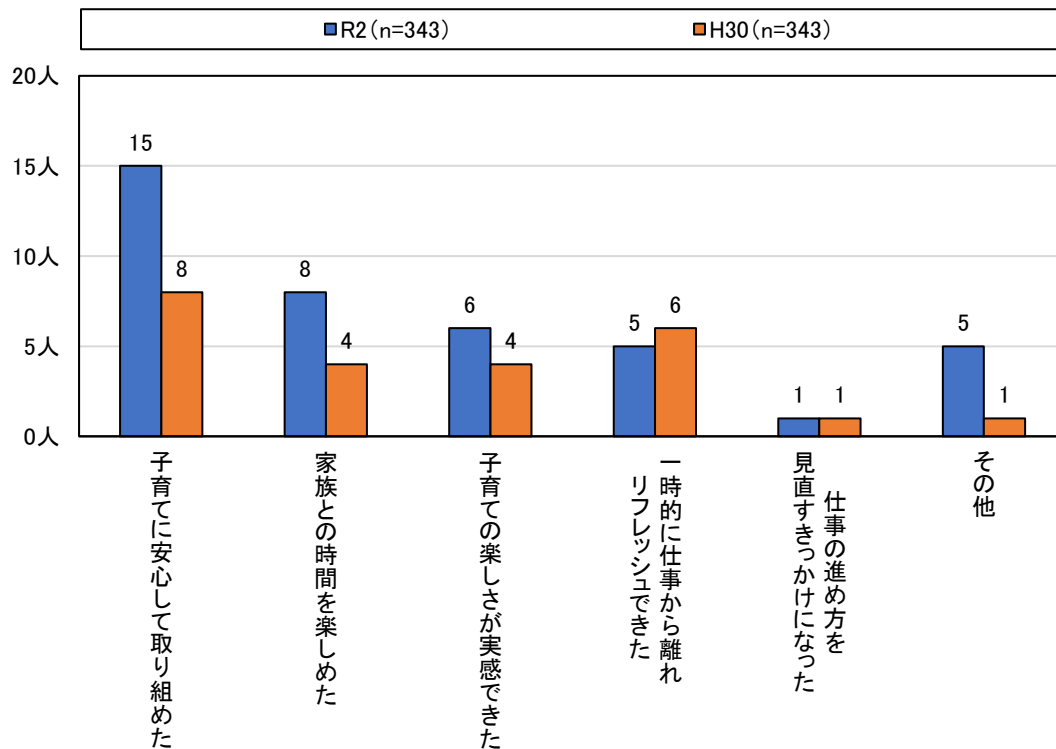
※育児休業を取得した経験がある方が回答

【問6－（3）】育児休業を利用してよかったことはなんですか。複数

育児休業を利用してよかったことは、「子育てに安心して取り組めた」が15票で最も多く、次いで「家族との時間を楽しめた」「子育ての楽しさが実感できた」となっている。

平成30年度調査と比較すると、「子育てに安心して取り組めた」「家族との時間を楽しめた」が多くなっている。

図表 102 育児休業を利用してよかったこと複数



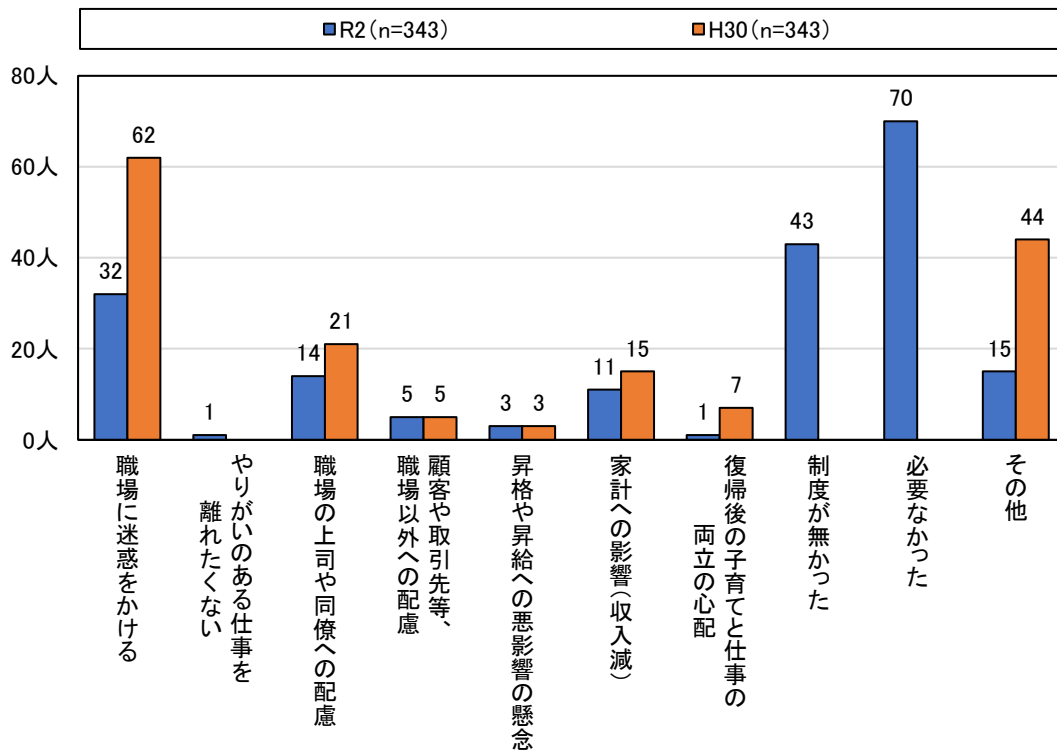
※育児休業を取得しなかった経験がある方が回答

【問6－（4）】育児休業を取得しなかった理由はどれですか。【複】

育児休業を利用できなかった理由は、「必要なかった」が70票で最も多く、次いで「制度が無かった」「職場に迷惑をかける」となっている。

平成30年度調査と比較すると、「職場に迷惑をかける」が最も減少している。

図表 103 育児休業を取得しなかった理由【複】



育児休業を取得しなかった理由「その他」の内容 ※（ ）内は2件以上の回答数

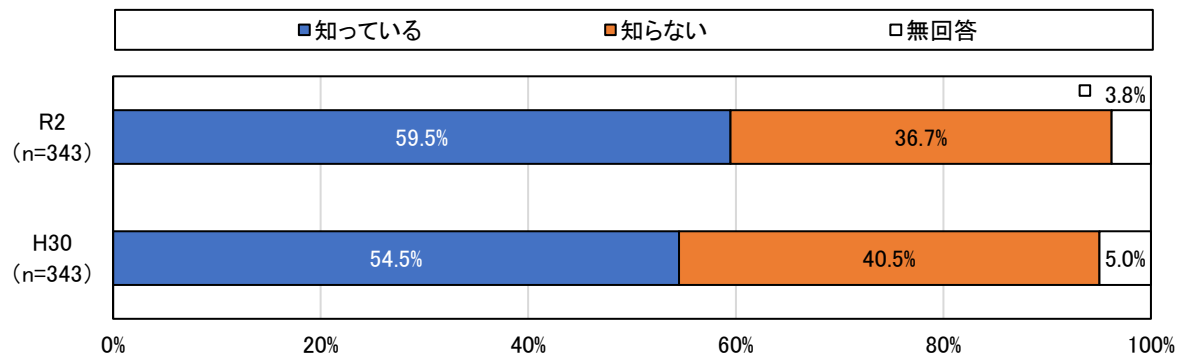
- ・退職した。（2件）
- ・臨時職員で制度に該当しなかった。
- ・会社で制度があることを知らなかった。
- ・会社から復帰するようお願いされた。
- ・男性で取得する習慣が無かった。
- ・配偶者が専業主婦だった。
- ・手当の支給が遅いため、取得を断念した。

【問7ー（1）】介護休業制度を知っていますか。

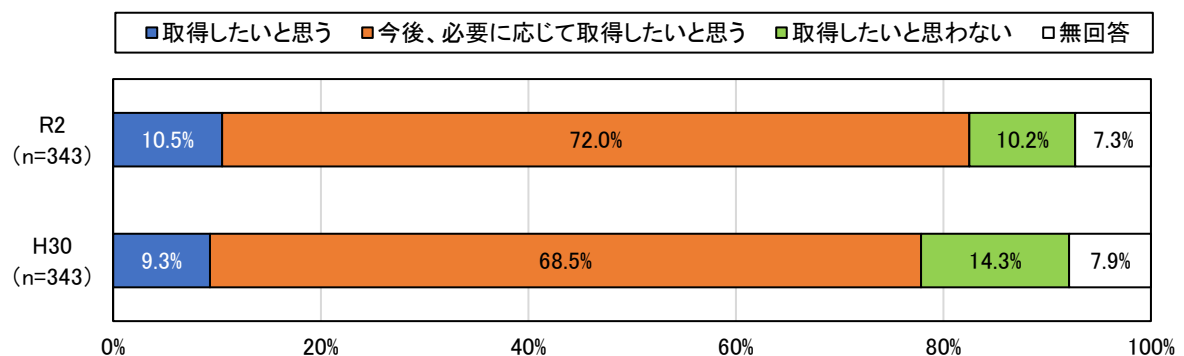
【問7ー（2）】介護休業を取得したいと思いますか。

介護休業制度の認知状況は、「知っている」が約6割を占めている。また、介護休業の取得意向は『取得意向がある（「取得したいと思う」と「今後、必要に応じて取得したいと思う」の合計）』が約8割を占めている。

図表 104 介護休業制度の認知状況



図表 105 介護休業の取得意向



5 その他について

【問8】あなたが働いている職場は、女性にとって働きやすいと思いますか。男性の方につきましても、あなたから見て感じることをお答えください。

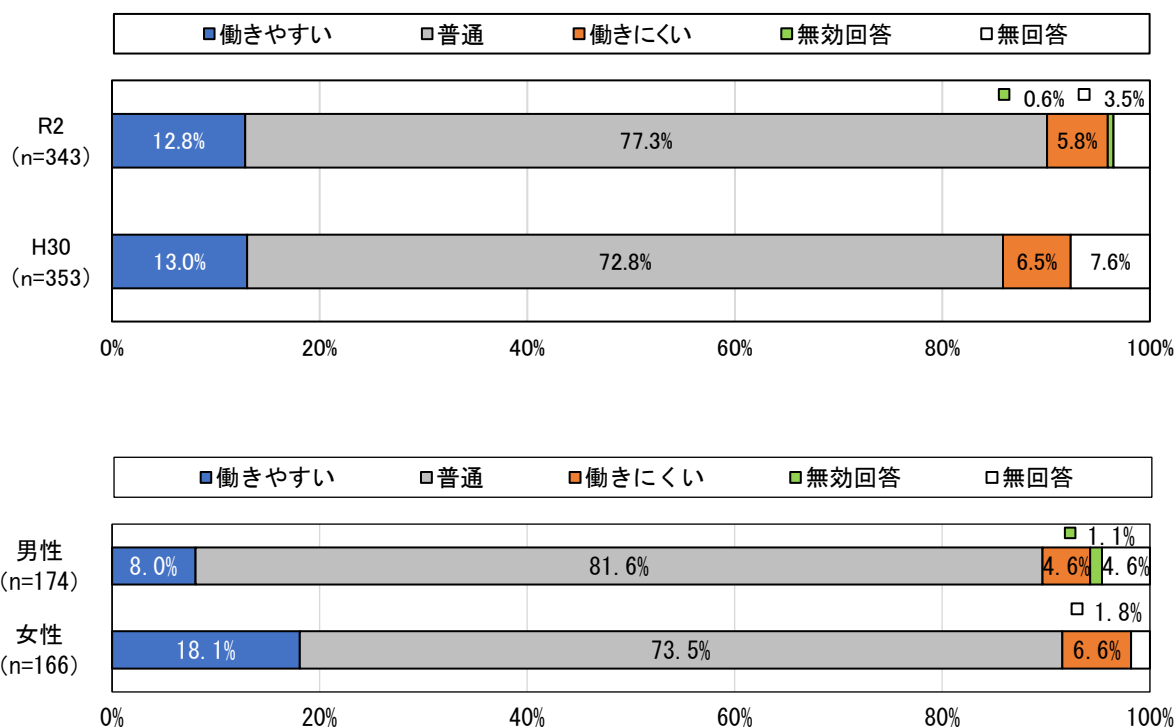
女性にとって働きやすい職場だと思うかについて、「普通」が約8割を占めている。

性別でみると、女性は男性に比べて「働きやすい」の割合が高くなっている。

女性が働きやすい職場だと理由思う理由は、「女性が働きやすい配慮（就業時間・休暇取得）」が最も多く、次いで「女性が多い職場・職種で、理解が得られやすい」となっている。

一方で、女性が働きやすいと思わない理由は、「体力が必要な仕事である」が最も多く、次いで「女性が働くための設備・環境が整っていない」となっている。

図表 106 女性にとって働きやすい職場



女性にとって働きやすい職場だと理由 ※（ ）内は2件以上の回答数

- ・女性が働きやすい配慮（就業時間、休暇取得）がある。（21）
- ・女性が多い職場・職種で、理解が得られやすい。（9）
- ・コンプライアンスを重視している。
- ・仕事を任せてくれる。

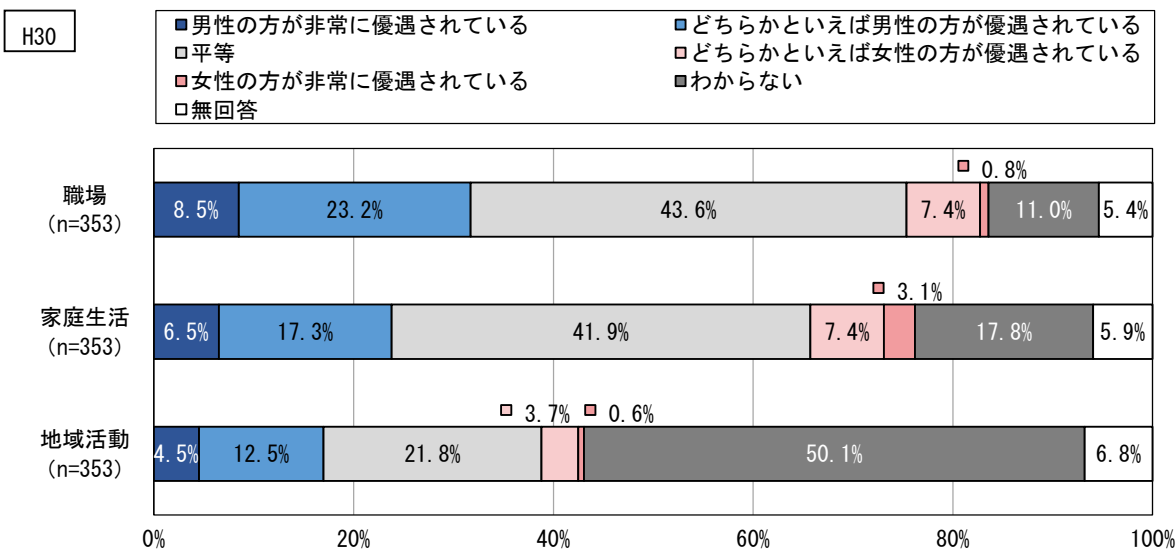
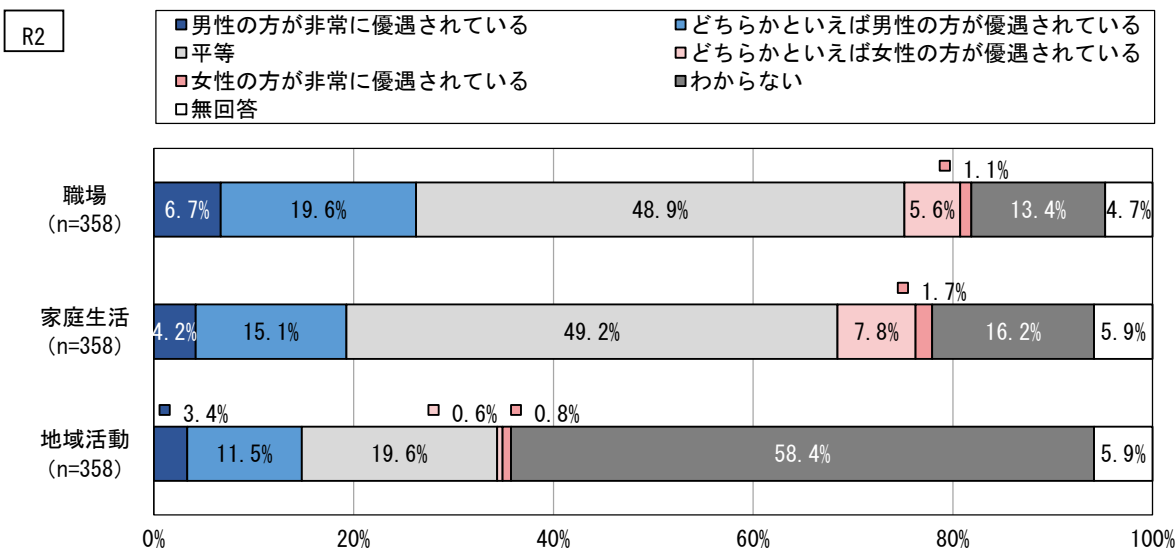
女性にとって働きにくい職場だと思う理由 ※（ ）内は2件以上の回答数

- ・体力が必要な仕事である。（9）
- ・女性が働くための設備・制度が整っていない。（3）

【問9】あなたは、「職場」「家庭生活」「地域活動」の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

男女の地位は、地域活動の「わからない」を除くと、全ての分野で「平等」が最も高くなっている。男性と女性いずれが優遇されているかで見ると、『男性の方が優遇されている（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）』の割合が高くなっており、分野別では職場の割合が最も高くなっている。

図表 107 「職場」「家庭生活」「地域活動」における男女の地位

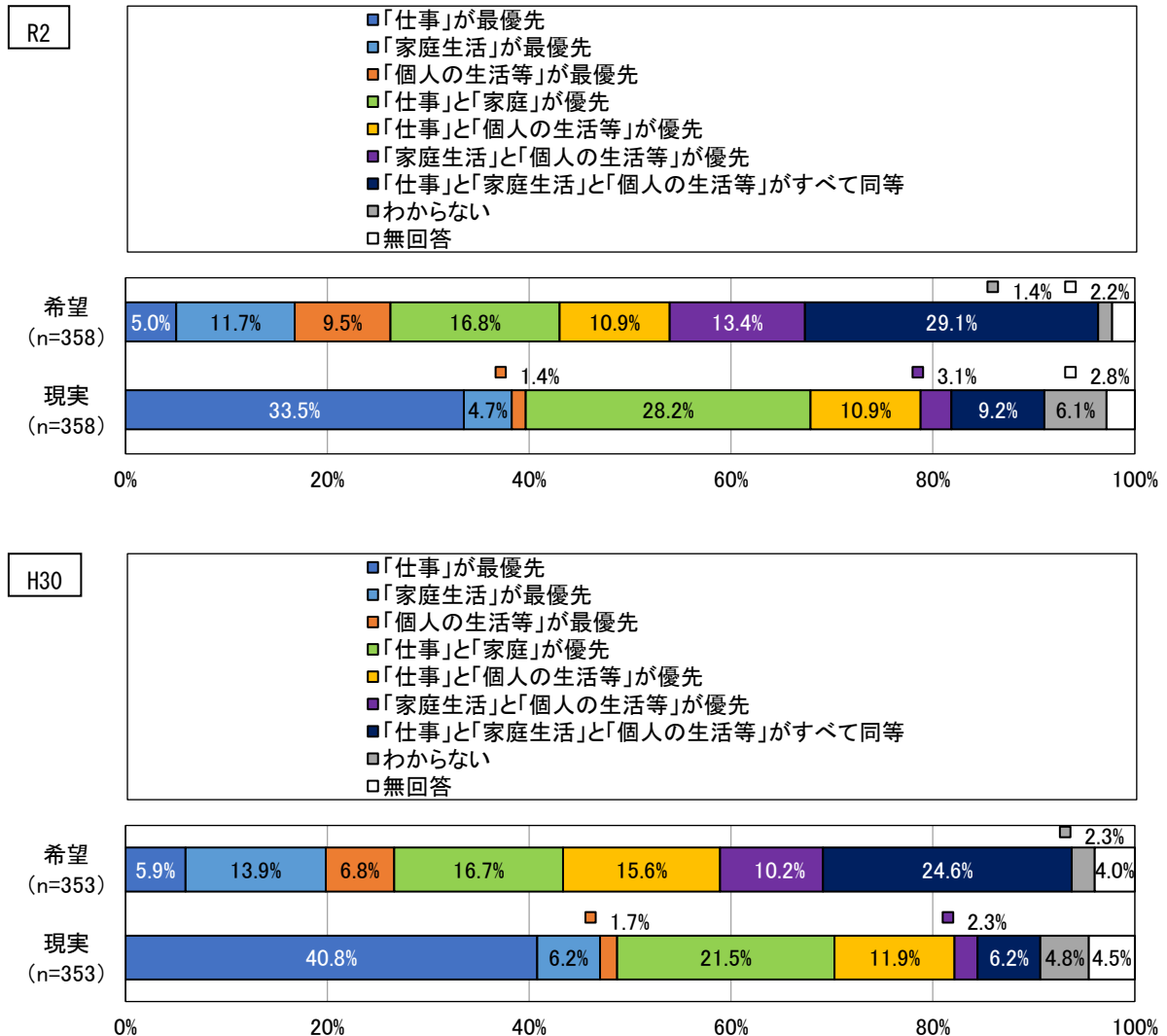


【問１０】日常における、「仕事」「家庭生活」「個人の生活等」の優先度について、どのように考えていますか。

日常における、「仕事」「家庭生活」「個人の生活等」の優先度について、希望は「仕事と家庭生活と個人の生活等がすべて同等」が約３割で最も高く、次いで「仕事と家庭が優先」「家庭生活と個人の生活等が優先」となっている。

一方で、現実には「仕事が最優先」が約３割で最も高く、次いで「仕事と家庭が優先」「仕事と個人の生活等が優先」となっている。

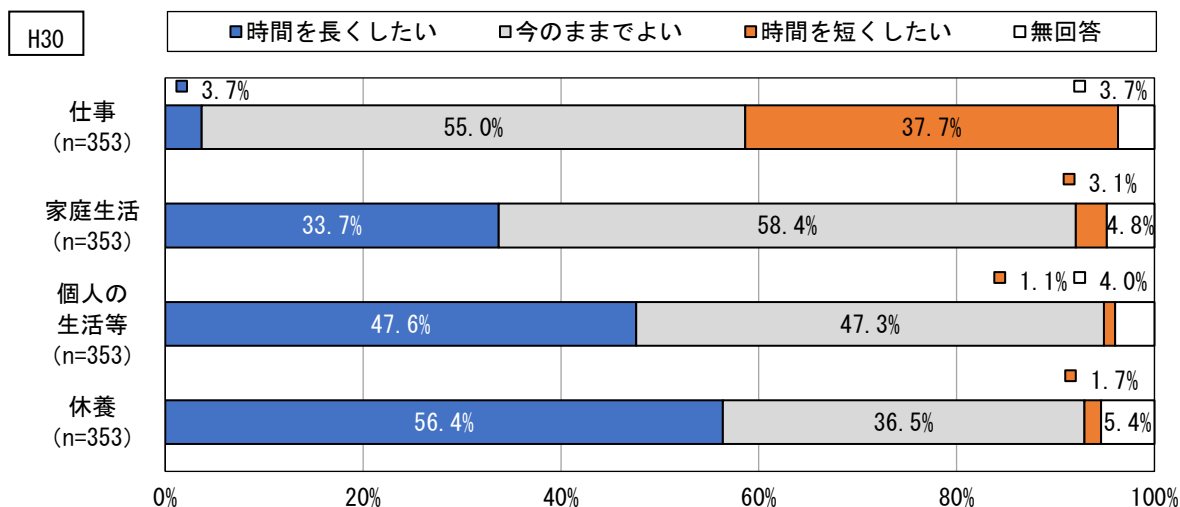
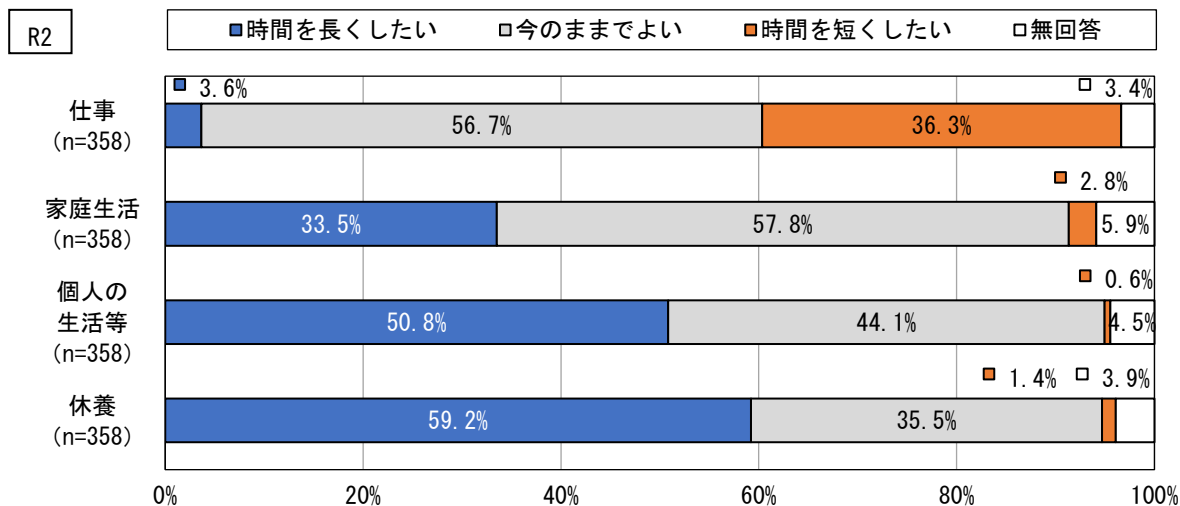
図表 108 日常における、「仕事」「家庭生活」「個人の生活等」の優先度



【問 1 1】「仕事」「家庭生活」「個人の生活」「休養」の生活時間について、今後どのようにしたいと思いますか。

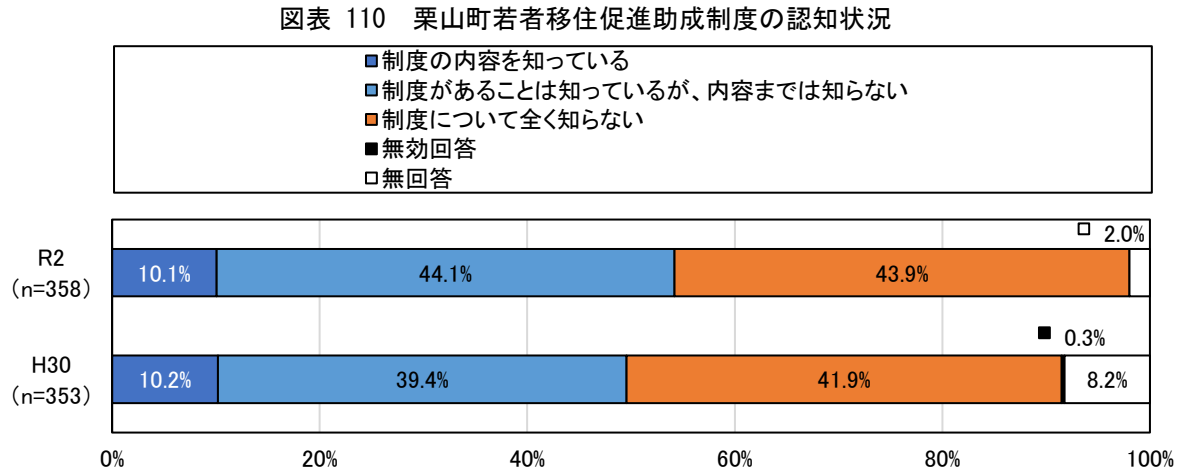
今後の生活時間の意向について、個人の生活と休養は「長くしたい」が5割以上、家庭生活は「今のままでよい」が約6割、仕事は「短くしたい」の割合が約4割でそれぞれ最も高くなっている。

図表 109 今後の生活時間の意向



【問 1 2】 栗山町若者移住促進助成制度を知っていますか。

栗山町若者移住促進助成制度の認知状況は、「知っている（「制度の内容を知っている」と「制度があることは知っているが、内容までは知らない」の合計）」は約5割で、そのうち「制度の内容を知っている」は約1割となっている。



【問 1 3】 栗山町 UI ターン等奨学金返済助成制度を知っていますか。

栗山町 UI ターン等奨学金返済助成制度の認知状況は、「知っている（「制度の内容を知っている」と「制度があることは知っているが、内容までは知らない」の合計）」は約3割で、そのうち「制度の内容を知っている」は約1割となっている。

